キャラクター名
フユネ　クロユリ（元の名前は桜小路　冬）

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス モルフェウス	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	学生
オプショナル		年齢	16	性別	女
覚醒	無知	衝動	殺戮	初期侵食率	33 %
出自	名家生まれ	経験	記憶消失	邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	4	1	2			7
精神	0	0	1			1
社会	2	0	0			2

HP	25
行動値	15
(非装備時)	15
戦闘移動	20
全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	3		ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ガン・オープン	射撃	7r+3				浸5 一般的な銃を作成{ハンドレットガンズ}
		0				一般的な銃の作成、仲間に渡せるとゆうのは便利
刃弾	射撃	13r+3	-3	7		浸4 {カスタマイズ}{コンセントレイト}銃
		0				銃が体と連結し銃弾は刃を出す

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
思い出の一品[懐中時計]	
思い出の一品[家族の集合写真]	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
ブラッドアーム	P　興味	N　脅威		
神城早月/ロイス	P 親近感	N　不安		
UGN	P　感服	N　嫌気		
枝下　灰斗　（しだれ　はいと）	P 好奇心	N 不快感		
支部長[田中]	P 連帯感	N　恐怖		
河川敷の捨て猫	P　好意	N 劣等感		
佐藤悠里	P　同情	N 無関心		

最大財産P:	4	残り財産P：	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：モルフェウス	2	2	メジャー					
効果：クリティカル値-3								
カスタマイズ	2	2	メジャー		武器	対決		
効果：ダイス＋Ｌｖ個								
ハンドレッドガンズ	2	5	マイナー	30m	自身	自動		
効果：攻撃力+7								
クリスタライズ	1	4	メジャー			対決	100↑	
効果：攻撃力.lvx2[2]　装甲無視　シナリオ３回								
ギガンティックモード	1	3	メジャー	選択	武器	対決		
効果：範囲（選択）に変更する								
万能器具	1		メジャー					
効果：大気にある物質つかって日常品炸裂								
無上厨師	1		メジャー					
効果：大気にある物質を使って料理炸裂								
テクスチャーチェンジ	1							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

PC2　シナリオロイス：今回の犯人
推奨カバー/ワークス　自由/ＵＧＮエージェントorチルドレン
君はPC３と共に依頼を進めるエージェントorチルドレンだ。君の依頼は今回の事件の犯人を見つけ出し、事件を「解決」する事だ。君は過去の経験（トラウマ）からこの手の犯人を許す事はできないだろう。しかし、どうも他のエージェントも苦戦しているようで一筋縄ではいかないようだ・・・しかし、君は立ち止まるわけにはいかない。あのような惨状を繰り返してはいけないからだ。君は不安ととてつもない憎悪を胸にこの街に向かうのであった。

元々桜小路とゆう結構な名家で生まれた事は知っている
だけど私にはその記憶がない、情報によるとそこには５人家族（父・母・長男・長女・次女）がいたらしい
私はその次女にあたるみたいだ。
[memory1「彼女の記憶」]
[＝＝＝＝＝＝（この時現在7才）＝＝＝＝＝]
私が最初にいた場所、それは路地裏の少し大きい段ボールの中
その時はたしか雨だった、雨といっても小雨くらいの雨だ。
私は周りを見渡した、その時は周りには誰もいない　だけど横の段ボールに小さい子猫が入っていた。
私はその子猫のダンボールには「捨て猫です、だれか拾ってあげてください」そう書いてあった。
私も捨てられたのかな、そう思った

ふと私は手元を見る
だけど　　私　　はなんでここにいるんだろう　　私　は　　誰だ？

自分の名前も家族も覚えてない思い出せない記憶障害って奴なのかな　わからない